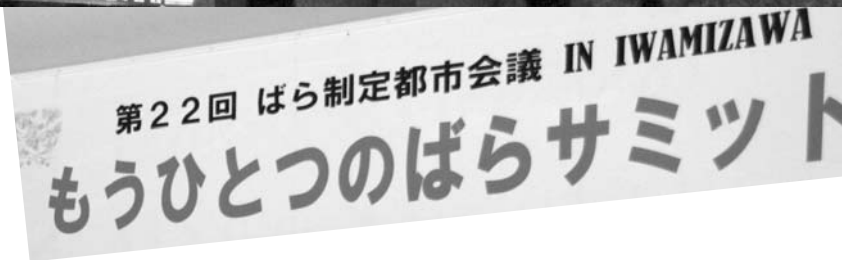




第22回ばら制定指定都市会議(ばらサミット)のポスターを制作し、「もうひとつのばらサミット」で研究発表をされた緑陵高校の皆さんです。



いわみざわ 市議会だより

第96号

平成25年8月1日発行



● 審議の結果

第2回臨時会・第2回定例会・・・2

● 一般質問・・・4～8

● 常任委員会所管事務調査・・・9

● 議会の動き・一口議会用語・編集後記・・・10

審議の結果

第2回臨時会

（5月20日開催）

【決議】

◎桂沢浄水場更新事業特別委員会
の設置について

◎議会改革特別委員会の設置
について（関連9次）

↓ 以上、原案可決

各委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

総務常任委員会

◎天崎 弘 石黒 武美
○堀 孝行 大坂 龍起

○池島 和行 齊須 正友
伊澤 幸信

○仁志 紘一 氏家 一夫
○田中 和宏 笹島 清一

○峯 泰教 上田 久司
宮下 透

◎経済常任委員会

○篠原 藤雄 谷口 洋一
○酒井 和子 牧田 滋昌

○平野 義文 増山 宣之
建設常任委員会

◎井幡 修一 古石 英仁
○豊岡 義博 太田 博之

○野尻 清 山田 靖廣
議会運営委員会

◎野尻 清 大坂 龍起
○石黒 武美 篠原 藤雄

○豊岡 義博 齊須 正友
宮下 透 上田 久司

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

◎岩見沢市中心市街地活性化特
別委員会

◎宮下 透 田中 和宏
○上田 久司 牧田 滋昌

○仁志 紘一 井幡 修一
○平野 義文 大坂 龍起

○峯 泰教 太田 博之
氏家 一夫 酒井 和子

桂沢浄水場更新事業特別委員会

◎谷口 洋一 古石 英仁
○池島 和行 笹島 清一

○豊岡 義博 篠原 藤雄
○野尻 清 増山 宣之

○堀 孝行 齊須 正友
天崎 弘 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

◎議会改革特別委員会

◎増山 宣之 谷口 洋一
○峯 泰教 古石 英仁

○池島 和行 牧田 滋昌
○豊岡 義博 井幡 修一

○仁志 紘一 大坂 龍起
○野尻 清 太田 博之

○平野 義文 篠原 藤雄
堀 孝行 齊須 正友

○宮下 透 上田 久司
天崎 弘 山田 靖廣

○石黒 武美 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

○天崎 弘 氏家 一夫
石黒 武美 山田 靖廣

正副議長就任あいさつ

（於 第2回臨時会）



議長 伊澤 幸信

今、地方自治体においては、少
子高齢化による人口の減少、さら
には自治体間の広域化などさま
ざまな問題が山積しており、議
会の果たす役割の大きさ、責任の
重さに身の引き締まる思いであ
ります。

さらには、議会改革など市民の
関心も高いものと感じております。
浅学非才の私ではありますが全
身全霊をかけて公平な議会の運
営に当たる所存でございます。

議員皆様方のご協力をお願い
するとともに理事者の方々を初
め、職員の皆様方、何よりも市民
の皆様方のご支援とご協力を賜
わりますよう、伏してお願いを申
し上げ、就任のあいさつに代えさ
せていただきます。

どうぞ、よろしくお願いたし
ます。



副議長 牧田 滋昌

私は伊澤議長を補佐して、議
会改革を初めとする諸課題の解
決のために全力を尽くしたいと
思っております。

しかし、もとより浅学非才で
ございました、皆様方のご指導
をいただかなければなりません。
私の持ち味と言えば、人様の
話はしっかり聞くということだ
と自覚しながら生活させても
らっております。

そういう私でございますので、
どうか皆さん、忌憚のないご意
見をお寄せいただきますよう、
皆さんのご意見をエネルギーと
して伊澤議長を守り立てて市民
の皆さんのためになるようにお
務めしたいと思っております。

どうぞ、よろしくお願いたし
ます。

第2回 定例会

〈6月12日～24日開催〉

- ◎ 駅舎北口にトイレ（簡易）の設置について
- ◎ 自治体財政の確保と地方分権の確立等について
- ◎ 札幌航空交通管制部の存続・充実に ついて
- ◎ 母（朱春菊）が中国で不法に逮捕されている件について
- ◎ 違法な臓器生体移植を禁じることについて
- ◎ 原発のない北海道の実現を求める意見書案について
- ◎ 地方財政の充実・強化を求める意見書について
- ◎ 平成25年度北海道地方最低賃金改正等について
- ◎ 義務教育費国庫負担堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2014年度国家予算編成における教育予算確保・拡充について
- ◎ 道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域の子どもの実態に応じた高校づくりの実現について

一般質問の発言通告項目

- 【大坂龍起議員】
 - ① ごみ分別の徹底化
 - ② 岩見沢市の人口減対策及び人口増対策
- 【田中 和宏議員】
 - ① 中心市街地活性化
- 【石黒武美議員】
 - ① 市役所北村支所庁舎の活用
 - ② 市役所改革に対する職員意識
- 【生活保護事務】
 - ③ 生活保護事務
- 【岩見沢市新エネルギー・省エネルギー重点ビジョン】
 - ⑤ 土地改良事業予算増額に伴う影響
- 【教育委員会制度改革】
 - ⑥ 教育委員会制度改革
- 【教員免許更新制】
 - ⑦ 教員免許更新制
- 【山田靖廣議員】
 - ① 生活保護制度
 - ② 介護保険制度
- 【峯 泰教議員】
 - ① 公共施設の整備及び更新計画
- 【住環境の整備】
 - ② 住環境の整備
- 【斉須 正友議員】
 - ① 住民の安心、安全の推進
 - ② ごみ行政
- 【堀 孝行議員】
 - ① ごみ減量化対策
 - ② 工事発注と事務手続き
 - ③ 職員給与削減
- 【平野 義文議員】
 - ① 今後の都市計画
 - ② 除排雪事業
- 【上田 久司議員】
 - ① 原発即時ゼロ、核兵器廃絶の取り組み
 - ② 公務員給与の削減
 - ③ 競馬場跡地利用
 - ④ 新学校給食センター
- 【池島 和行議員】
 - ① 北海道新幹線
 - ② 学校給食

表彰・感謝状

第89回全国市議会議長会定期総会において、副議長4年以上の功績により、仁志紘一議員が、また議員活動10年以上の功績により、天崎弘議員、伊澤幸信議員、石黒武美議員、井幡修一議員、氏家一夫議員、太田博之議員、野尻清議員、古石英仁議員、増山宣之議員が表彰され、議長から伝達が行われました。

また、地方行政委員会委員としての功績により、感謝状を受けた増山宣之議員に対し、同じく伝達が行われました。



一般質問

大坂 龍起 議員

市民クラブ

A

Q

土地の無償化政策等について、事業効果を含め、調査研究する考えは、事業効果の高い先駆的な都市の取り組みなども参考に検討していきたい。

問

一向に歯どめがきかない人口減に対し、市保有の土地無償化等の思い切った政策に取り組むべきと考えるが。

答

3月に国立社会保険・人口問題研究所が公表した将来人口推計では、2040年には、当市の人口は約6万人と推計され、本年5月末と比較して2万7千500人ほどの人口減少と、厳しい見通しとなっている。

この人口減少社会の到来が今後のまちづくりを進める中で、大きな危機感を持っており、長期的な視野に立った人口減、人口増の対策の取り組みは、大変重要なものと認識している。

自然動態の減については、近年横ばいで推移しているが、自然動態における人口をふやす取り組みの一つとして、健康寿命の増進や、本年度から実施した「不妊治療費助成事業」や「産前産後ヘルパー事業」などの子育て支援施策を重点分野に位置づけ、その充実を図ったところでもある。

社会動態については、土地の無償化政策の調査研究などについては、まずは他市の事例や事業効果などについて、一度研究したいと考えている。また、長期的な展望に立ち、人口の定着や企業進出による雇用環境の整備など、人口増につながる総合的な施策の構築に向け、事業効果の高い先駆的な都市の取り組みなども参考に検討していきたいと考えている。

田中 和宏 議員

平成クラブ

A

Q

現活性化基本計画の検証を早急に行い、次期計画に進むべきと思うが。第1期計画の反省点を踏まえ、第2期計画については、関係団体を初め、市民の皆様からのお声をいただきながら作成していきたい。

問

中心市街地活性化について、①中心市街地活性化基本計画の達成状況、課題は。②駅前整備事業は。③第2期基本計画に向けた方針は。

答

①達成状況としては、「歩行者通行量」「従業者数」のいずれもが、目標値には達成しておらず、市民の皆様にごわいを実感していただけるとは至っていない。

その要因については、全国の他都市と同様にのに加え、中心市街地活性化協議会、商店街振興組合連合会などの意見交換の中で、さまざまなご意見をいただいているところである。

中心市街地活性化民要望などについてさらには調査を進め、より実効性の高い次期計画の作成が必要と考えている。②駅前通りの地区計画については、地元権利者や商店街の皆さんが主体となり、どのような町並みにするのか、検討を重ね、合意を得てつくりあげたものである。

また、建築物の用途を制限することにより、良好な環境を確保すること、岩見沢市の玄関口にふさわしい町並みが形成されるものと考えている。引き続き地権者の意向を引きながら、土地利用の促進を図っていききたい。1西6地区の土地利用については、土地所有者が主体と考えており、市が土地を取得し、再開発

一般質問

石黒 武美 議員

平成クラブ

Q

北村支所庁舎の有効利用についての考えは。

地域の皆様の声を聞きながら、スピード感をもって検討していきたい。

A

問

市役所北村支所庁舎の活用について、
①北村支所庁舎の活用計画は。
②公共施設と住民活動のかかわりは。

答

①北村支所の空きスペースの活用をどのように図るかにについては、過去にも議論されているが、現在まで有効な活用方法を見出すことができずにきたのが現状である。

今後、支所としての機能を果たしながら、住民の皆様への窓口サービスが低下しないことを原則として、北村地域の振興にとつて、地域の中核施設として有効活用していくことは重要な課題だと考えている。
行政だけでは使い切れない部分については、構

市役所北村支所庁舎の活用について、
造上や安全面を含めてどのような活用方法がふさわしいのか、地域の皆様の声も聞きながら、スピード感をもって検討していきたい。

市長

北村地域にとつてあれだけすばらしい庁舎施設であるので、そこが一つの核となり、北村地域全体の振興が図れるような、もしくは活気がでるような、そういったことは十分念頭に置きながら、具体的な利活用の方策についてさらに協議を進めていきたいと考えている。

また、その際は、地域の代表者、あるいは地域の皆様のお声というのは、やはり基本的に大事だと思っているので、具体的にどういう方法を通じてお声をいただくのかも含めて、しっかりと議論を重ねていきたいと考えている。
再質問 北村支所の有効活用に向けた検討・協議の中に地域の代表者を入れるべきと考えるが、そ

山田 靖廣 議員

日本共産党議員団

Q

市民の最低限度の生活保障のため、ケースワーカーの拡充は最優先と考えるが。

被保護世帯数の動向や状況を見極め、適正、計画的な配置をしてまいりたい。

A

問

生活保護制度について、ケースワーカーの配置と役割などは、
ケースワーカーは

答

社会福祉法第16条で被保護世帯80世帯に1名の配置とされており、この基準では、当市における標準数は20名となり、現在の配置数が17名であるため、3名の欠員があるが、本年4月に2名を増員し、昨年の充足率75%から85%に向上し、1人当たりの担当世帯数も11世帯から98世帯に減少したところである。

今後、被保護世帯数の動向や状況を見極め、適正、計画的な配置をしていきたい。
ケースワーカーの構成については、全員が社会福祉主事の有資格者であ

り、平均年齢は32.2歳で、20代が6名、30代が9名、40代が2名となっている。

訪問等により、生活実態の把握を行い、必要に応じて電話連絡などを行っていく。

経験年数は、1年未満が6名、1年以上3年未満が8名、3年以上が3名という状況である。育成については、複雑な事情の相談や問題を抱える家庭訪問には、必要に応じて、指揮監督する役割の査察指導員などが同席し、的確な対応を指導している。

今後、生活保護の適正な実施のため、家庭訪問等を通じ、被保護世帯の実態の把握及び自立助長に向けた支援に努めていきたい。

今後、研修会等への積極的な参加を通じ、専門知識の習得や能力の向上に努めるとともに、相談者や被保護世帯の立場に立った、適切な対応に努めていきたい。

保護世帯とのかかわりについては、定期的な家庭訪問を通じて、計画的に配置を進めていきたい。

一般質問

議員 教 泰 峯

新政クラブ

A

Q

公共施設の再整備については、中長期の更新計画を立て、行うことが必要と考えるが。

地域のバランスや地域住民の意向を十分に考慮しながら計画的に行っていききたい。

問

①整備計画は現在どのような状態にあるのか。②人口減少、高齢化が進む中で、どのような考え方で整備計画を立てていくのか。

答

①岩見沢市が保有する公共施設数、建物は約400施設となり、そのうち約4割は築30年以上と老朽化しており、維持管理、更新経費の財政負担は多額となること
が予想され、今後の公共施設の再整備に当たっては、適正で計画的な維持管理により、可能な限り長寿命化を優先し、既に策定している橋梁や公営住宅、下水道管路の長寿命化計画など、本年度においても、下水道処理施設の長寿命化計画の策定

を予定している。

今後ますます厳しくなることが予想される財政環境を踏まえ、個々の公共施設の整備については、それぞれの将来的な見通しを具体的に計画していきたい。

②行政責任をしっかりと確保した上で、民間で行うものは民間で行うことを基本に「新しくつくること」から「賢く使うこと」への重点化により、施設の長寿命化を図り、また、建てかえや新築を行う場合は、施設の複合化や統廃合を行うなど、資産の有効活用を検討し、時代の変化に即応するため、施設の用途変更などに柔軟で弾力的な整備や公共施設の配置などを、地域のバランスや地域住

民の意向を十分に考慮しながら計画的に行っている。

再質問

いろいろと調べの中で、個別の建物を拾っていくと、大変な時代だと痛感せざるを得ないことばかりであり、早急に新しい計画を策定していく考えはあるのか。

市長

各施設の計画については、実はかなり個別の計画ができており、大きな計画のくりでは公園施設の長寿命化計画、それから下水道処理施設等の長寿命化計画などは、ことし中につくることとしている。



議員 友 正 須 齊

公明党

A

Q

ごみ有料化導入の時期とその告知期間について、どのように考えているか。

ごみの分別の変更や減量化の具体的な施策やスケジュールを7月中には示したい。

問

①ごみ行政について、ごみ有料化の検討の進捗度は。②導入のための告知期間、導入時期は。③インセンティブが必要では。④市民の分別、減量意識高揚のため、プラスチック製容器包装の再資源化の状況を市民に公表しては。

答

①一般廃棄物処理基本計画では、平成27年度までに有料化を導入することとしている。ごみ減量化検討委員会からも「ごみ減量の動機づけとなり、新処分場の稼働に伴い、ごみの分別区分が変更される点を踏まえて実施時期を検討すべきであり、有料化の導入に当たっては、目的、効果、必要性などについて十分に市民の理解を求め、

排出ルールが守られるよう、説明会の開催や広報紙、ホームページなどを活用し、十分な期間を設け周知を図るべき」と提言をいただき、実施に伴うさまざまな課題について検討を進めている。

②平成27年4月から新処分場が供用開始されるが、焼却施設については供用開始前に試験運転を予定している。それらを踏まえ、ごみの分別の変更や減量化の具体的な施策やスケジュールを7月中には示したい。

③有料化後に特典を与えることは、現時点では難しいと考えているが、努力し分別、減量化に取り組んでいる町会や事業所を公表し、表彰するなど、の検討はしたい。

④プラスチック製容器包装の処理先は、毎年、容器包装リサイクル協会の入札で決定し、平成24年度は、エコパーク三笠で材料リサイクルとして処理され、最終的に荷物を載せるパレットや断熱材に製品化され、平成25年度は新日鐵住金株式会社に変更となり、コークス炉で分解され、燃料、化学原料、鉄鉱石の還元剤としてリサイクルされている。

今後、ホームページ等で現在お知らせしている毎月の収集量に加え、処理方法や製品などの状況についてもご紹介していきたい。

今後、ホームページ等で現在お知らせしている毎月の収集量に加え、処理方法や製品などの状況についてもご紹介していきたい。

堀 孝行 議員

新政クラブ

A

取り組みの強化とあわせ、ごみの分別の変更や減量化の具体的な施策やスケジュールを示し、市民、事業者が協働で進めていくことが重要と考える。

Q

「ごみ非常事態宣言」と「ごみ減量化メニューとタイムスケジュール」を早急に示すべきでは。

問

ごみ減量化対策について、①家庭系のごみ減量化が進んだ要因をどのように分析しているのか。

②減量化対策をさらに進めるための計画は。③事業系ごみの排出原単位は。④事業系ごみが増加傾向にあるのであれば、その対策は。⑤ごみ非常事態宣言について。

答

①平成24年度の排出量は1万9千779トン、排出原単位は616グラムで、平成23年度より排出量は724トン、排出原単位は12グラム減少している。

市民の皆様が資源ごみ分別に取り組んでいただいた結果と考えている。また、集団資源回収などの資源物回収にも市民

の皆様が積極的取り組み、紙類などの資源化推進されたことも要因と考えている。

②14力所の公共施設の資源回収拠点に加え、市内スーパリー等に協力を願い、資源回収ボックスの設置をしていきたい。

また、ごみ・環境総合案内所「クリーンエコ」を中心市街地に開設し、分別、減量化、生ごみの堆肥化などの情報発信をしていきたい。

③平成24年度の排出原単位は424グラムで、平成23年度より27グラム増加している。

④ごみの分別徹底を進めるため、昨年12月より、主な事業所へ戸別訪問も開始し、また、岩見沢商

工会議所とごみの分別、

減量化の協議の場を持ち、商工会議所会報2月号から事業所のごみの分別、減量化の啓発記事も連載していただいている。

また、事業系ごみを収集運搬している許可業者に対し、分別収集を徹底するよう指導している。

⑤ごみ非常事態宣言というよりも、井戸端会議や出前講座の開催、事業者への直接訪問など、さらなる取り組みの強化とあわせ、ごみの分別の変更

や減量化の具体的な施策やスケジュールを7月中に示し、市民、事業者、行政が協働で進めていくことが何よりも重要と考

えている。

えている。

平野 義文 議員

新政クラブ

A

どのような体制が望ましいか、関係団体と協議を進めていきたい。

Q

駅前通りの計画について、実行力のあるマネジメント組織を早急に立ち上げ、機能するよう支援すべきと考えるが。

問

①駅前通整備事業について。②都市計画マスタープランについて。

答

①この事業は、北海道が事業主体となり、平成21年度から事業が開始されている。

平成23年度からは、支障物件の補償交渉が始まり、昨年度までに33件の契約が締結され、今年度においても、引き続き交渉が行われることとなっている。

関係する約4割の地権者の補償交渉がまだ始まっていない段階で、跡地の利用を決めかねている方や、既に補償契約が終わり、建物を解体して更地のままの状態としてテナントを探している方もいると聞いている。

今後においては、補償交渉が進められる中で、引き続き関係権利者の意向を聞きながら、さらに土地利用の促進を図って

また、この事業を含めた中心市街地活性化へ向けた各種事業の展開を進めるため、エリアマネジ

メントは有効であると考えている。しかし、現在不在となっているエリアマネージャーには、専門的知識や関係者などの調整能力が求められることから、人材確保が難しい。

どのような体制が望ましいのか、関係団体と協議を進めていきたい。

②このマスタープランは、平成18年3月に策定し、平成23年5月に栗沢地域

をとり込んだ見直しを行っている。計画期間は20年間として、20年後の都市計画のあるべき姿、都市像を示し、それを目指していく上での道しるべとなるものである。

全体的な進捗状況のチェックや成果の評価については、10年をめぐりに、市民、事業団体、行政で構成する組織を立ち上げ、必要に応じた軌道修正や効果的な進捗管理を図って



▲駅前通りの状況

一般質問

上田 久司 議員

日本共産党議員団

A

Q

今回の学校給食基本方針及び整備計画が、子どもを第一に考えたものなのか。

1か所で徹底した衛生管理を行うとともに、将来を担う子どもたちにもできる限り負担を残さないということも重要と考えている。

問

新学校給食センターについて、

①市の基本方針及び整備方針は。②子どもを第一に考えた対応を。

答

①学校給食施設整備の基本的な方向性については、学校給食市民懇談会等いただいた意見などを参考にするとともに、さまざまな諸課題を検証し、教育委員会とも十分協議を行い、

5月24日に「新しい学校給食施設の基本方針」として発表をした。

学校給食市民懇談会において、意見、要望があった自校・親子方式には、さまざまなメリットがあり、それを望む方々の気持ちは十分理解できる。

また、複数施設の整備

を望む声についても、承知をしている。

しかし、学校の状況を総合的に検証すると、給食施設を整備する敷地面積の少ない学校も多く、

自校・親子方式を選択肢とすることは、現実的には難しい状況もある。

また、今後の児童生徒数の減少に伴う学校の統廃合の検討が必要となってくることで、学校の大規模改修等に合わせ整備を行うと相当の年数がかかること、施設が複数になると建設費や維持管理費も多額になることなどの課題があることから、自校・親子方式のメリットを取り入れた施設整備を早期に進めることが最善と判断した。

②「二度と食中毒事故を

起こさない」「安全でおいしい給食を提供する」ことを最優先し、1か所で徹底した衛生管理を行うとともに、調理ラインの複数化によるリスク分散や食育の推進、食物アレルギー対応などにも取り組むこととしている。

将来を担う子どもたちのためにも、できる限り負担を残さないことも重要だと認識している。

再質問 なぜ自校・親子方式が難しいのなら、即1か所となったのか。

市長 方式の違いなどいろいろ考え合わせ、岩見沢においては十分、センター方式1か所で充実した学校給食の提供が可能だと総合的に判断した。

池島 和行 議員

新政クラブ

A

Q

新幹線札幌延伸に伴う観光誘致を全国に積極的に発信すべきと考えるが。

岩見沢の魅力高めるとともに、札幌圏や道外に対するPRを戦略的に行っていきたい。

問

北海道新幹線札幌延伸について、

①新幹線整備場などの誘致は。②延伸に伴う観光客の誘致は。

答

①道民の長年の悲願であった札幌延伸の決定により、鹿児島から札幌まで結ばれることとなり、観光やビジネスなど、さまざまな分野での交流の拡大が期待され、札幌市に近い岩見沢市でも、新幹線がもたらすさまざまな効果を最大限生かしていくことが重要だと考えている。

また、北海道から新幹線がもたらす経済効果が公表され、建設投資や開業による経済波及効果、雇用創出効果が、岩見沢市の観光振興や雇用環境など地域経済の活性化に

大きく寄与することを期待している。

与党の整備新幹線建設推進プロジェクトでは、工期短縮について議論されており、市では、一日関係団体とも連携を図りながら、豊かな自然や食など、岩見沢の特性を生かしたさまざまな観光資源をアピールできるように、岩見沢の魅力高めるとともに、札幌圏や道外に対するPRを戦略的に

行っていく。再質問 岩見沢の土地を活用してもらえようと考えては。

市長 現時点では、札幌まで延伸された後に、その効果を岩見沢にできるだけ取り込みたいと考えている。

また、北海道から新幹線がもたらす経済効果が公表され、建設投資や開業による経済波及効果、雇用創出効果が、岩見沢市の観光振興や雇用環境など地域経済の活性化に

大きく寄与することを期待している。

②札幌延伸により、道外から気軽に新幹線に乗って、バラ園や百餅祭りに

常任委員会 所管事務調査

5月27日から6月3日にかけて、各常任委員会が開催され、それぞれの委員会において、所管事務調査が実施されました。

総務常任委員会

総務部、企画財政部、会計室、北村支所（総務課及び市民課）、栗沢支所（総務課及び市民課）、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員の所管に属する事項及び「学校給食共同調理所整備方針」並びに「いわなび」の現地調査を行いました。



▲岩見沢小学校（体育館）

民生常任委員会

健康福祉部、環境部、北村支所（保健福祉課）、栗沢支所（保健福祉課）、市立総合病院（保健福祉課）、市立栗沢病院の所管に属する事項について、事務調査を行い、それぞれ質疑応答が行われた後、岩見沢じん芥処理センター、新処分場建設地、グループホーム「ファイン」（有限会社ファイン）、北海道社会福祉事業団福祉村の現地調査を行いました。



▲グループホーム「ファイン」

経済常任委員会

農政部、農業委員会、経済部の所管に属する事項について、事務調査を行い、それぞれ質疑応答が行われた後、金子排水機場、10Rワイナリー（合同会社10Rワイナリー）、宝水ワイナリー（株式会社宝水ワイナリー）、競馬場跡地市民農園の現地調査を行いました。



トアール
▲10Rワイナリー

建設常任委員会

建設部、水道部の所管に属する事項について、事務調査を行い、それぞれ質疑応答が行われた後、第一配水池、市道界線（道路新設改良）、市営住宅建設地（北5条団地建替）、南光園処理場（再整備）の現地調査を行いました。



▲南光園処理場

議会改革特別委員会が設置されました

第2回臨時会において、設置することが決まった議会改革特別委員会は、第2回定例会期中、3度にわたり委員会を開催しました。

この委員会運営を協議するため、各会派から選出された理事と正副委員長で構成する理事会を設置することや、いくつかの小委員会を設け、そこで具体的な協議を進めることなどが決定されました。

委員からは、議会報告会の開催やインターネット及び各公共施設への議会中継の実施など、「議会が市民にとってもっと身近に感じてもらえるように考えるべき」との声や、「市民が議会に魅力を感じるような、議員の活動や行動を定義づけしていくことが大事では」などの意見が出されました。

今後、委員からの意見を踏まえ、具体的な協議を進めていく予定です。

一口議会用語

定例会

『定例会』とは、付議事件の有無にかかわらず、定期的に招集される議会のことをいい、岩見沢市議会では、毎年2月又は3月、6月、9月、12月の4回開くことを条例で定めています。

また、定例会のほかに、臨時に必要な場合、招集され、付議事件として告示したものに限り審議することができる議会を『臨時会』といいます。

なお、招集は市長が行いますが、会期や日程は議会が決めることとなっています。

議会を傍聴してみませんか

市議会はどなたでも傍聴することができます。本会議の傍聴は、議場の傍聴者入口で氏名等をご記入のうえ、傍聴規則に従って入場願います。

また、本会議において付託された議案を審議する常任委員会も傍聴できます。

議会事務局 議事係 / TEL (0126)23-4111



議会の動き

4月

24日 議員協議会

5月

2日 総務常任委員会

20日 議会運営委員会
第2回臨時会開催

総務常任委員会

民生常任委員会

経済常任委員会

建設常任委員会

岩見沢市中心市街地活性化特別委員会

議会改革特別委員会

桂沢浄水場更事業特別委員会

議会広報委員会

27日 経済常任委員会

29日 民生常任委員会

30日 総務常任委員会

6月

3日 建設常任委員会

7日 議会運営委員会

12日 第2回定例会本会議（開会、提案説明）
議会改革特別委員会

17日 本会議（一般質問）

18日 本会議（一般質問）

19日 本会議（一般質問）
議会改革特別委員会

20日 総務常任委員会

民生常任委員会

経済常任委員会

建設常任委員会

24日 議会運営委員会
本会議（表決、閉会）

議会広報委員会

議会改革特別委員会

岩見沢市中心市街地活性化特別委員会

編集後記

先日、岩見沢市の夏の風物詩である「いわみざわ彩花まつり」が行われ、夏の訪れを実感したところです。

さて、私たち議員の任期も折り返し時期を迎え、第2回臨時会において、新たな正副議長の選出、また、各常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の委員の選任などが行われ、新体制で議会運営を行うこととなりました。加えて、議会の活性化を目的として、新たに議会改革特別委員会が設置され、今後活発な議論が展開されるものと思っております。本紙において、その経過を少しでも皆様にお伝えしたいと考えております。

（野尻 記）

岩見沢市議会広報委員会

委員長 野尻 清
副委員長 田中 和宏

委員 大坂 龍起

委員 酒井 和子

委員 山田 靖廣